



運動会

大府コミュニティ毎とり
ふれあい

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
ふれあい部会
事務局

大府公民館
TEL48-1007



ゴミゼロ 運動

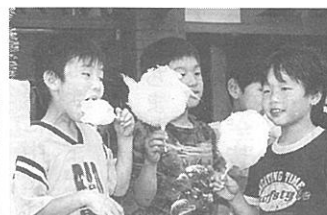


助けあう

家庭と地域を

創造しよう

大府公民館まつり 6月10日



まちづくり

新発想を求めて

自治区とは
その字のとおり
自ら区を治めること



大府区長 成田正昭

昭和9年生まれ A型
二輪車ツーリングで公園・寺院の散策が
楽しみ。座右の銘は「千慮一断」母・妻
と朝日町在住

司会 「まちづくり」と聞
いて何をイメージします
か？

自主的活動を
モットーに

いつでもこころがけてい
ることはまずニコニコと、
笑顔でいるということだ
すね。

成田 そういうことです。皆さん
にも「自治区」とは何かということか
ら考えてみてほしいんです。自治区と
はその字のとおり「自ら区を治めて
いこう」「自分たちの区を良くしてい
こう」というものなんです。

今年、国勢調査がありますし、大府
自治区が市内での防犯モデル地区にな
っています。また、大府消防団が市の
代表として県大会に出場するというう
れしいニュースもありますよ。

の運営が必
要になって
います。地
域の皆さん
のご協力に
よりすばら
しい運動展
開としたい
ものです。

成田 区長は市から委嘱された「振興
長」ですからね。私は平成七年に職場
外からコミュニティ活動を見ていたわ
けです。今は区長時代と比べると緊張
感というものが全然違います。マイ
ペースで仕事ができるのでとても活動
がしやすいです。市役所からの注文を
こなしていたのとは大きな違いがあり
ますね。

山下 私は二十年間土木関係の仕事
をやっていましたから、ずいぶん今ま
でとは違った環境になったといえます
ね。ハードからソフトへ、というところ
でしょうか。とまどいももちろんあり
ました。公民館の仕事というのはとに
かくたくさんの人に会うわけです。お
年寄りから小さい子どもさんまで。そ
こでいつもこころがけてい

今年度、大府コミュニティ推進協
会会長・大府区長・大府公民館長にそ
れぞれ次に紹介する方々が新しく就任
されました。それぞれのまちづくりに
対する取り組みは様々ですが、協力関
係をより親密にすることから、より効
率の良い運動展開が期待されます。

鷹羽 定年前に評議員（現・区委員）
をやっていた時、その当時の長老に「そ
ろそろお前も」と誘われて、平成七
年十二月に区長代理に、平成九年四月
に区長に就任し、いわゆる自治区の激
動期をすごしました。今思えば、少し
外からコミュニティ活動を見ていたわ
けです。今は区長時代と比べると緊張
感というものが全然違います。マイ
ペースで仕事ができるのでとても活動
がしやすいです。市役所からの注文を
こなしていたのとは大きな違いがあり
ますね。

を定年退職したあと、嘱託をしなが
ら平成八年から十一年まで評議員（現・
区委員）をやったのがきっかけです。
「振興員」、「区役場」、今は「自治区セ
ンター」ですが、ここの仕事というも
のがなかなかみなさんにはわかりにく
いようですね。区長は市からの仕事を
組長さんや班長さんを通じてみなさん
にお願ひしているんです。この「お願
ひ」がみなさんにとってはあまりあ
りたくない事が多いわけで、お叱り
を受けることもあります。このあたり
がづらいところで……。とにかく「忍」
の一字ですよ。

鷹羽 コミュニティ活動に関して言
えば、会社員のころには大きな関心はな
かったんです。「運動会やってるな
あ」って、その程度でした。区長時代
もいろいろと分かっていったつもりだ
ったんですが、こうして実際に中には
いって見たら細かい点はまだまだ分
かってなかったと気がつきましたね。
コミュニティ活動すなわちまちづくり、
これは自主的活動なんです。

新しい環境の中で…

司会 それぞれ新しい環境でスタート
されてから約三ヶ月経ったわけですが、
就任のきっかけと現在の心境を教えて
ください。



対談 一歩先へ

― 継続 ―

住民が手を取りあって

司会 より良い成果を残すためには今後何が大切だと考えられていますか？
成田 実は現在データを収集中なんです。

活動を推進するという大切な役割があるんです。それから、中心となって地域の人たちの人間形成の場になること、あと生涯学習の場になることです。年間の講座や学習活動など、いろいろと計画を立てているので、ぜひ参加してほしいですね。

山下 公民館にも自治



コミュニティ会長 鷹羽秀信

昭和9年生まれ O型
趣味のカラオケ18番は「浪花盃」（五木ひろし）妻と息子夫婦、五ヶ月の孫と朝日町在住

コミュニティ活動
すなわちまちづくり
これは自主的
活動なんです

すが、雨水の利用について考えているんです。自治区の活動も魅力のある新しいアイデアで人をひきつけないとね。自治区の活動が専門部のスタッフとともにそれぞれの専門活動が機能するように、今後も情報集めが必要だと思っています。そのためには

さまざまな出会いがあるといいですね。
山下 今は「魚のおろし方教室」が人気がありますが、いつまでもそれによっているわけにはいきません。公民館も魅力ある行事を考えていきたいで

公民館行事にも
自治区や
コミュニティの
バックアップが
必要です



公民館館長 山下民一

昭和24年生まれ B型
北山町に父、妻、娘、息子と住む
休日はトレッキング（軽登山）やナイフ作り、ゴルフなど。アウトドア派

す。しかし魅力がある、つまり人を集める事が一番難しい。新しいアイデアはもちろんですが、区やコミュニティのバックアップが必要になってきます。ひとつ新しい計画が頭の中にはあるんですよ。でもそれを実現するには一年間かけて下ごしらえをする必要があるかな、というところですね。
鷹羽 私もまだまだ手さぐりの状態ではありますが、大府コミュニティならではの良さはいろいろと感じることがあるんです。たとえば公民館まつりでは、ホールを利用しての催しなど集客力がありますね。運動会についてもいろいろな意見があるようですが、子どもが地域の大人といっしょになってがんばるというのはやはりいいことだと思います。長年継続していくのが大切ではないでしょうか。
司会 それぞれ立場は違っていますが、まちづくりへの思いはひとつにつながっているというわけですね。



7月8日(土)に、大府小学校グラウンドにて自転車・歩行者交通安全教室が、大府コミュニティ推進協議会交通安全防犯部会主催にて開催されました。またこの教室は、大府自治区環境安全部会の協力を得て行われました。ご参加頂きました皆さんに心よりお礼申し上げます。

自転車・歩行者
交通安全教室
開催

あの人この人

大切な人とまちを守りたい!

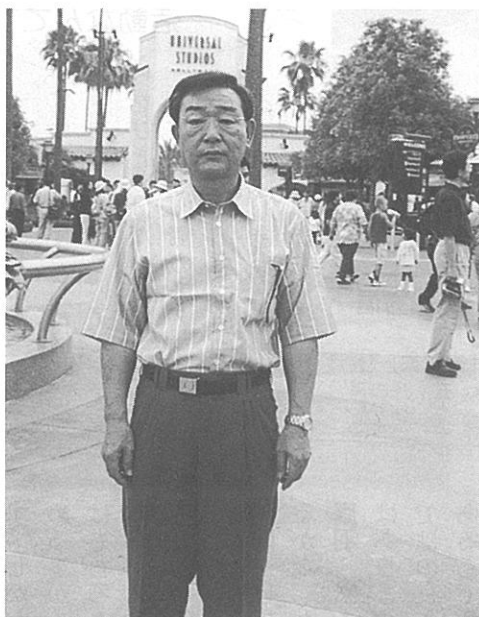
大府消防団長 伊藤 頼一 さん

中央町二

みなさんは、真夜中に火事のサイレンを聞いた事がありますか。「またどこかで火事かしら……」とねむい目をこすりながら、もう一度床についてしまう方も少なくないと思います。

そんな中、消防署の方々といっしょに出動し、市民の生命、安全を守る為にながらばっている人たちが消防団です。その大府市消防団の団長でもある伊藤頼一さんに、日頃のご苦労や市消防団への想いを熱く語っていただきました。

まず初めに、**Q**大府市消防団の組織を教えてください。**A**団長以下三名の役員の下に、二〇才〜三〇才の男性一五〇名が七つの分団にわかれていています。現在大府分団は二十二名でがんばっています。**Q**どんな方々が集まって日頃はどんな活動をしていますか。**A**サラリーマン、公務員、自営業者などさまざまな仕事を持つ人たちが集まり、毎週月曜日に各詰所で体力作りや車両点検をしています。もちろん、コミュニケーションの為に、年一回か親睦会も行ないます。**Q**犬山市の愛知県消防操法大会に出場されると聞きましたが、**A**今年は、大府分団が大府市の代表と



して出場します。訓練の仕上げに二ヶ月間、週三日横根グラウンドで八時半〜十一時半ごろまで練習を行っています。(注)大会は七月二十九日犬山市で開催されました。**Q**日頃どんなご苦労がありますか。**A**いざという時に集結できるように情報交換をし、地域と連絡をとっています。二次災害の防止も心がけ、大府市全体の指揮官としての役割を考えています。特に阪神大震災、有珠山や普賢岳の噴火、三宅島の地震などのニュースを聞くと胸が痛みます。**Q**消防団のPRがありましたらどうぞ!**A**自分を育ててくれた地元への恩

返しのために始めた消防団活動です。だんだん失われつつある地域の縦のつながりも強くなり、自分のふるさとを大切にしたい気持ちも芽ばえてきます。きびしさ、楽しさ、やさしさをモットーにがんばっている自主的組織なので、是非進んで入ってほしいと願っています。

★インタビューを終えて

伊藤さんの枕元には常に特別無線があり、仕事の車の中にはいつでも出動できる様にヘルメットや消防団のハッピが用意されているそうです。私たちの目にみえない所で大府市民の生命や安全を守ってくださっていると思うと頭の下がる思いです。きっとご家族のご苦労も絶えないと思います。頭に知識を詰め込むだけでなく、何に対しても前向きに、人の為に自分ができる事をするという伊藤さんの強いボランティア精神をご家族が理解してくだ

さっているのでしょうか。私自身も、お話を伺ううちに、一人の手でできる事には限りがあるけれど、たくさんの方が集まればできないことなどないのかも知れない、という大きな希望を持ちました。伊藤さんはじめ、消防団員の方々に心からエールを送ります。「いつもありがとうございます! これからも頑張ってください!!」

★伊藤さんプロフィール

昭和二十三年二月十六日生、五十二才。趣味はゴルフ(なかなかの腕前だとか)。

大府高校野球部OB会長(やっぱり、スポーツマンでした。)

— K —



あとがき、

フレッシュなリーダーの座談会に同席し、翌日、あの人この人のインタビュに同行しました。頭の下がるお話ばかりで、自分の無知を恥じました。昨今マスコミを賑わすのは、悲しい事件の報道ばかり。せめて我々が「ふれあい」は、人知れず社会の灯となつて活躍している人々を紹介したいと思っています。

わが街を愛すればこそ、この他にも、色々な団体の活動を陰でささえる人々が、今日も笑顔でがんばっています。